

「主体的な学び」を促すユニバーサルデザインの授業モデルに基づいた
学習指導案作成の考え方

項目		思考を支える 指導・支援	指導・支援の例			
			指導・支援の具体例			児童生徒の姿
導入	学習内容の 視覚提示 (視覚化)		「各教科の見 方・考え方」の 焦点化	肯定的な評価 取り組もうとして いることを肯定的 に評価し、意欲を 高める。	問題提示 導入の工夫	興味をもつ。
		見せ方を工夫し、本時の学習への意欲を高め、全員が参加できる活動を仕組む。			教材のしかけ 指導者による 的確な問い	
展開	本時の流れの 確認・めあ ての提示 (焦点化)	活動内容、活動の流れ、活動目標、解決すべきことを身近な生活に結び付け、イメージさせる。	「各教科の見 方・考え方」の 共有化	取り組んでいる過程をスモールステップで評価し、意欲を持続させる。	学習の必然性	考えのずれ、間違いを生み出す。 疑問を生み出す。
	モデルやヒントの 提示 (視覚化・共有化)	やり方等の理解をそろえ、解決できるイメージをもたせる。			授業の山場	問題の意味を理解する。 ルールを理解する。 イメージ化できる。 見通しがもてる。 一人一人が自分の言葉で話し、共有化する。
	観点や視点の 提示 (視覚化・焦点化)	教材・教具の示し方を工夫し、観点や視点に気付かせ、考える内容を方向付ける。				自分の考えをもつ。 新たな疑問を生み出す。
	動作化・作業化	身体を使わせることで、表現に気付かせたり理解を深めさせたりする。				
	学習形態の 工夫 (共有化)	ペアやグループによる話し合い活動等で、言語化させ合い、理解を深めさせる。				
終末	振り返りでの 言語化 (視覚化・共有化)	めあてに対し、発言させたり書かせたりして振り返らせることで、できたことを実感させる。	「めあて」の達成	自己評価・他者評価・相互評価等により、できたことや課題を認識させる。		友だちの考えを解釈する。 友だちの考えを自分の言葉で表現する。 「問い」を乗り越える。 ノートに再現する。